

平成26年度大阪府立八尾支援学校 第1回学校協議会報告

2014. 7. 8

□日 時 平成26年 7月8日(火) 午前10時30分～12時

□場 所 大阪府立八尾支援学校 校長室

□テーマ

- ・平成26年度学校協議会委員の紹介・平成26年度学校協議会事務局の紹介
- ・平成26年度学校協議会長の選出・学校協議会実施要項(案)
- ・平成26年度八尾支援学校概要・学校からの情報提供

□学校協議会委員

稲垣 範子	(本校PTA会長)
乾 伊津子	(大阪市職業リハビリテーションセンター 所長)
岡崎 裕子	(大阪大谷大学 教育学部 教授 学長補佐)
島 ゆみ	(東大阪子ども家庭センター地域相談課 総括)
白石 哲也	(八尾市 健康福祉部次長兼 障がい福祉課長)
山田 紅美	(東大阪子ども家庭センター 地域相談課 総括)
吉田 裕子	(東大阪市療育センター 第一はばたき園 園長)

□学校協議会事務局

古川 綾子 (教頭・小)	近藤 一美 (教頭・中)	渋川 雅宏 (教頭・高)
小林 俊雄 (事務長)		
荒木 智恵子 (首席・小)	横山 眞二 (首席・中)	
河上 鉄男 (首席・高)	山本 耕平 (首席・高)	
山田 美也子 (指導教諭)		
松村 由美 (小学部主事)	柳井 祥晴 (中学部主事)	山口 亮子 (高等部主事)
岩崎 浩一 (総務部・中)	久保 友里恵 (総務部・高)	

□協議会 内容

1 学校長挨拶

本校第1回目の学校協議会であり、平成26年度の学校経営計画や本校の各部署の取組みの計画について報告を行う。協議会委員の方々に多方面からのご意見を頂きたい。

2 平成26年度学校協議会委員の紹介

3 平成26年度学校協議会事務局の紹介

4 平成26年度学校協議会長の選出

会長 岡崎裕子（大阪大谷大学 教育学部 教授 学長補佐）

5 学校協議会 実施要項（案）

○保護者からの意見書について

- ・昨年度は保護者の方からの意見書の提出はなかった。
- ・学校協議会の会議記録は昨年度に引き続き、ホームページで広く公開する。
- ・今後も、各学期における授業参観に関するアンケートやみんなの相談ポストを活用する。

6 平成26年度八尾支援学校概要

○学校経営方針

本校

- ・東校は平成26年度閉校し、平成27年度には西浦高校の跡地を活用した新たな支援学校が開校される。保護者の方々の不安や、環境の変化に弱い児童生徒への配慮が大切である。
- ・めざす学校像を具現化するため、中期的目標を設定している。「個別の支援計画」「個別の指導計画」の充実と活用、キャリア教育や進路指導の指導力の強化等をめざしている。
- ・学校経営計画を実現するために、校務分掌組織の再編やICT化の促進を行っていく。また、ベテラン教員の退職、新規採用教員の増加をふまえ、ミドルリーダーの活用が必要である。

東校

- ・高等部としては、卒業後を考えたキャリア教育が特徴的である。
- ・タブレット端末とICT機器が充実してきている。それらのICT機器を用いて、フロンティアのコースの生徒たちの自己発信力を高めていきたい。
- ・音楽科が授業の実践例の冊子作りに取り組んでいる。他教科にも今後広げていくことで、授業力の向上をめざす。

★質疑応答

Q. 学校間の交流は行われているのか？

A. 小、中学部は上之島小学校や上之島中学校と交流を行っている。高等部は山本高校と運動会や文化祭、クラブ活動を通して広く交流を行っている。

Q. 居住地校交流はどのような形で行っているのか？

A. 居住地校交流は、昨年度から引き続き行っており、小学部で一番多く実施している。保護者の方々の要望に基づいて、本校に在籍している児童生徒の居住地の学校に交流を行っている。

○進路指導部より 平成25年度卒業生の進路状況について

- ・就職希望者は約15名で、そのうち8名就職することができた。就職希望者は2年生で1回、3年生で2回の計3回、在校中に企業体験実習を行った。
- ・能力開発校に関しては、本校からの受験者5名中3名が合格した。その中でも、北大阪高等職業技術専門校は、本校から初めての進路先となっている。

- ・児童養護施設で生活している生徒が多かった学年であったため、卒業後のグループホーム、ケアホームなどの生活の場を確保していくことが課題であった。

★質疑応答

Q. 全体的に進路指導は順調に進められているか？

A. 卒業後の進路希望を生徒と一緒に考えて、企業側と生徒のマッチングを行っている。一番遅い内定としては、2月ぎりぎりになってしまったこともあったが、本人たちの希望に沿えるよう進路指導を行っている。

○各学部紹介

〈小学部〉

- ・基本的な生活習慣、身辺自立を意識している。保護者の方と相談しながら、個別の支援計画をしっかりと立てて取り組んでいる。
- ・集団遊びなどを通して人間関係を築いていくため、「遊び」に関しても重点をおいている。
- ・学校間交流は、上之島小学校と年3回程度行っている。
- ・居住地校交流に関しては、本年度は27名の希望があった。小学校低学年の生徒が多く、支援学級の授業に入ることが多かった。

〈中学部〉

- ・集団生活を経験することを重視している。
- ・作業の授業では、中学部1～3年生が一緒に活動する点が特徴的である。キャリア教育につながるような授業を実施している。
- ・朝の時間はランニングをして身体作りをしている。
- ・進路先としては、東校の他、たまがわ高等支援学校、専修学校に進む生徒もいる。

〈高等部〉

- ・22年度から徐々に生徒数が増加している。
- ・高等部は教科学習がメインであり、グループ学習を中心に行っている。
- ・チャイムを意識しながら10分間の休憩の間に教室移動をしている。
- ・バスは10コースあり、60分以上かかるコースもでてきている。バス通学の他、自主通学で通学する生徒も増加している。
- ・課外クラブでは週1回のバス発後の練習の他、週3回の朝練も行っている。

7 学校からの情報提供

○第1回 保護者向け授業アンケート 集計結果

- ・中学部、高等部については学年により差はあるが、アンケートの回収率が低い。

〈小学部〉

- ・提出率は高い。学年によっては9割近い人数で、良い評価が8割以上であった。

〈中学部〉

- ・アンケートの回収率をあげていくとともに、今後の授業力向上を目指す。

〈高等部〉

- ・アンケートだけでは見えてこない課題もある。アンケートの回収率もあげていきたい。

★質疑応答

Q. 授業参観の参加率はどれくらいか？

A. 来て頂いた方の人数は細かく把握できていないが、仕事をされている保護者の方が増加してきて、授業参観の参加も難しい状況になっている。次回から保護者の方の出欠を確認する。「授業参観週間」という要望もあるので、検討していきたい。

8 准校長あいさつ

- 学校に保護者の方が関心を寄せてもらえるような取組みをしていきたい。
- 今後も八尾支援の教育内容をホームページに掲載していき、広く知って頂きたい。